

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11)実用新案登録番号

第3057754号

(45)発行日 平成11年(1999) 6月2日

(24)登録日 平成11年(1999) 3月10日

(51)Int.Cl.⁸

識別記号

F I

A 4 7 L 13/42

A 4 7 L 13/42

13/10

13/10

E

// A 4 7 L 25/00

25/00

D

評価書の請求 未請求 請求項の数4 O L (全 7 頁)

(21)出願番号 実願平10-7184

(73)実用新案権者 598126335

加藤 久美子

千葉県船橋市本中山3-7-18佐久間荘2号

(22)出願日 平成10年(1998) 9月16日

(72)考案者 加藤 久美子

千葉県船橋市本中山3-7-18佐久間荘2号

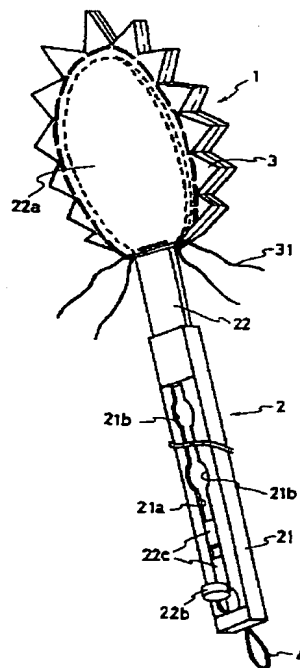
(74)代理人 弁理士 中村 盛夫 (外1名)

(54)【考案の名称】 掃除具

(57)【要約】

【課題】 これまでの掃除具は、伸縮自在ではあっても複数に分割するものであると、自在な長さとするためには分割した部材を外して置くことになるので一時的に見失ったり、紛失したりすることが避けられなかった。また、清掃手段であるブラシやスポンジが肉厚となって隙間等の狭い箇所に入らず、無理に入れても操作するための柄が太く操作性が悪かった。

【解決手段】 柄2を全体として扁平なスリーブ21と、スリーブ21より引き出し自在でかつ複数箇所でスリーブ21に止着可能としたスライドレール22とから構成し、スライドレール22の先端に幅広体22aを設け、この幅広体22aに嵌め外し自在な清掃手段3を設けるようにした。



1

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 柄を全体として扁平なスリーブと、スリーブより引き出し自在でかつ複数箇所スリーブに止着可能としたスライドレールとから構成し、スライドレールの先端に幅広体を設け、この幅広体に嵌め外し自在な清掃手段を設け、狭く奥行きが長い箇所を清掃するのに適するようにしたことを特徴とする掃除具。

【請求項2】 請求項1記載の掃除具において、スリーブにスロットを設けると共に、このスロットの複数箇所の対向位置に弧状の切欠を配置し、スライドレールの基部にスリーブのスロット及び弧状の切欠から入り込み掛止する起伏自在なスライドロックを設けてスライドレールの引き出し長さを変更可能としたことを特徴とするもの。

【請求項3】 請求項1または請求項2記載の掃除具において、スライドレールにスリーブのスロットの長手方向の側縁に当接しかつ抜け落ち防止のストッパーとなるスライドガイドを突設したことを特徴とするもの。

【請求項4】 請求項1、請求項2又は請求項3記載の*

2

* 掃除具において、スリーブの厚みを0.5cm前後としたことを特徴とするもの。

【図面の簡単な説明】

【図1】 この考案に係る掃除具の斜視図である。

【図2】 この考案に係る掃除具の使用状態の斜視図である。

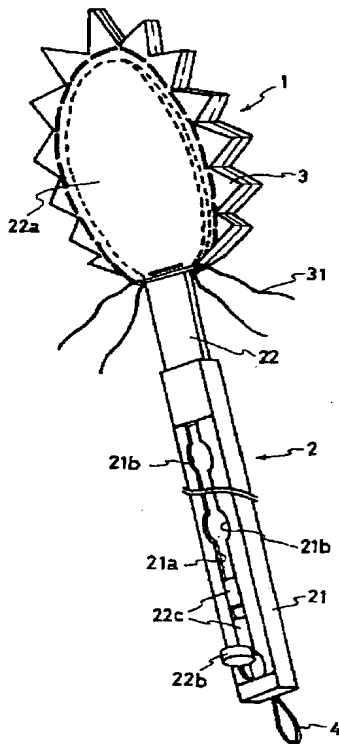
【図3】 この考案に係る掃除具の要部断面図である。

【図4】 この考案に係る掃除具の要部端面図である。

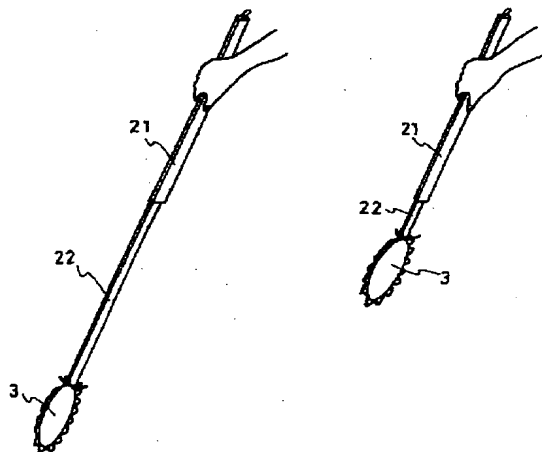
【符号の説明】

- 1 清掃具
2 柄
21 スリーブ
21a スロット
22 スライドレール
22a 幅広体
22b スライドロック
22c スライドガイド
3 清掃手段
4 提手

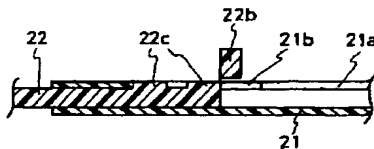
【図1】



【図2】



【図3】



【図4】

